

第 2 期遠野スタイル創造・発展総合戦略の K P I の実績について（令和 4 年度）

審議資料No.2-2

プロジェクト名	番号	内容	単位	担当課	現状	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	達成率	達成状況	成果・評価	令和4年度における新型コロナウイルスの影響及び対策
【重点プロジェクト1】 雇用確保のための内発型・外発型商工業の振興	1	納税義務者の総所得金額	百万円	商工労働課	25,636 (R1)	目標数値	25,933	26,239	26,548	26,861	27,178	99.9	未達成	（令和5年度市税のあらましが公表前のため、令和4年度市税のあらましの数値を記載。） 事業の生産性向上に向けた取組により昨年引き続き、給与所得と営業所得が増加し市民所得の向上が図られた。 今後は、成長が期待されるものづくり産業を中心に、地域の「稼ぐ力」や「地域価値」の向上を図ることにより、まちに賑わいと活力を生み出し、民間投資の喚起や所得の増加につなげていく。	昨年と同様に金融機関と連携して資金繰り支援を講じたほか、中小企業者の事業継続と、市内における消費喚起のための地域経済対策を講じた。国、県、市の連携による財政支援等により、コロナ禍で沈む地域経済を下支えすることができた。
						実績値	25,498	26,216	26,513						
	2	納税義務者数	人 (個人)	商工労働課	10,648 (H30)	目標数値	10,707	10,766	10,826	10,886	10,946	95.7	未達成	（令和5年度市税のあらましが公表前のため、令和4年度市税のあらましの数値を記載。） 事業の生産性向上に向けた取組により、納税義務者数は減少傾向が続いている。 若者の雇用確保に向けた情報・魅力発信を行うとともに、市内企業の仕事を知らず、体験させることで人材確保に向けた支援策の充実に取り組んでいく。	生産性向上に向けた設備投資を行い企業の業績は改善されたものの、依然として、市内の有効求人倍率が高く推移し、人手不足が顕著に表れている。 また、商業施設や広報等での企業紹介を行い、市民に周知を行った。
						実績値	10,574	10,511	10,364						
3		社 (法人)	商工労働課	654 (R1)	目標数値	655	650	651	652	653	94.5	未達成	人口減少や担い手不足の影響により、法人数は減少傾向が続いている。 今後、関係機関と協力し事業者の伴走支援等を円滑に行い、効果的に課題解決を図っていく。	コロナ禍にあって、中小企業者の事業継続を支援するため、事業者の固定費負担軽減策を講じた。 また、コロナ収束後の景気回復を見据えた企業の設備投資を支援し、事業の生産性向上を促進した。	
					実績値	651	629	615							
4		製造品出荷額	億円	商工労働課	717 (H29統計)	目標数値	732	430	500	530	560	122.4	達成	（令和4年経済センサス活動調査の結果が公表前のため、令和3年実績工業統計表の数値を記載。） 市内企業において、経済活動の国際化に伴い、海外動向の影響が及ぶ状況になっている。 近年の米中貿易摩擦による国内製造輸出の鈍化、ロシアによるウクライナ侵攻によって供給への懸念が高まり、対前年比で減少した。 今後も世界的な不確実性の高まりが想定される中、自社の被害想定だけでなくサプライチェーン全体を俯瞰し、調達先の分散など、多面的なリスク対応を通じて柔軟性を強化していく。	コロナ収束後の景気回復を見据え、企業の設備投資を促進するため、商工業・再構築補助金により、市内27事業の生産性向上を支援した。
						実績値	731	661	612						
【重点プロジェクト2】 タフな農林畜産業の6次産業化と新たな仕事の創出	5	農家世帯割合	%	農林課	41.09 (R1)	目標数値	41.20	41.31	41.42	41.53	41.64	98.5	未達成	令和4年度の農家世帯数は、前年度と比較し66世帯減少した。 今後においては、取得した農地の有効活用を促すため、第3次遠野市農林水産振興ビジョンに基づく各種施策を実施していく。	
						実績値	40.79	41.65	40.79						
	6	新規就農世帯数	世帯	農林課	2 (H30)	目標数値	7	7	7	7	7	57.1	未達成	農地法3条を活用し、新規で農地を取得又は借りた世帯数は4件に留まった。 しかしながら、新規に認定農業者等の認定を受けた世帯もあり、農業関係人口の維持・拡大の役割を果たした。 (1) 認定新規就農者から認定農業者への切替 2件 (2) 認定農業者への新規認定 1件 (3) 認定新規就農者への新規認定 1件 今後は、新たに農業に取り組もうとする世帯の掘り起こしを積極的に行う。	
						実績値	5	4	4						
	7	重点野菜出荷額	億円	畜産園芸課	1.9 (H30)	目標数値	2.2	2.3	2.4	2.5	2.6	87.5	未達成	重点品目については、ネギを品目追加したことで、前年より生産額が増加したが、目標数値には届かなかった。今後も生産者の維持、新規生産者の確保に努め、遠野市売れる農産物生産支援事業の周知を図るとともに関係機関と連携し支援を継続を図る。	飲食店の休業措置の継続により、需要が減少した。
実績値						2.3	2.0	2.1							
8	農産物直売所売上額	億円	畜産園芸課	5.9 (H30)	目標数値	5.7	5.7	5.8	5.9	6.0	98.3	未達成	新型コロナウイルス感染症に伴う行動制限の解除により、入込数及び販売額共に増加に転じており、特に市外からの来客が多い道の駅内の産直や釜石自動車道 I C 付近の産直で前年度を上回った。 今後は、感染防止対策を継続しながら、各産直個々の魅力を高める取組をし、更なる売り上げの回復を目指す。	新型コロナウイルス感染症に伴う行動制限の解除により、市内各産直において入込数及び販売額は全体的に回復傾向となった。 また、前年引き続き、産直連絡協議会を通じて、新型コロナウイルス感染症予防対策を徹底し、ガイドラインに沿った施設運営を徹底した。	
					実績値	4.8	4.9	5.7							
9	6次産業化関連効果額	億円	商工労働課 産業企画課	18.2 (H30)	目標数値	18.3	18.5	18.5	18.5	18.5	98.9	未達成	新型コロナウイルス感染症の影響を受けながらも、継続的に販売強化、売り場・イベント改善などを行った結果、特産品等の売上額は、前年度と比べ増（127.9%）となり、コロナ前の令和元年度を上回ることができた。 令和4年度は、目標達成できなかったが、農産物直売所入込数や販売額は回復傾向にあり、引き続き商品や売場、イベント等サービスの磨き上げを行い、6次産業化関連効果額の増に努める。	イベントの中止により売上が減少した事業者や果ごもり需要等をターゲットとした新商品を開発する事業者に、販路開拓や新商品開発の実施に対して、6次産業チャレンジ応援事業費補助金により適当な支援を行った。 ・販路拡大への支援 2件 ・新商品開発への支援 4件	
					実績値	14.6	16.9	18.3							

プロジェクト名	番号	内容	単位	担当課	現状	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	達成率	達成状況	成果・評価	令和4年度における新型コロナウイルスの影響及び対策	
【重点プロジェクト3】 観光振興と交流人口の拡大による「で・くらす遠野」定住の促進	10	移住者世帯数	世帯	観光交流課	6 (H30)	目標数値	10	10	10	10	10	150.0	達成	<p>東京都内を会場に、県主催の「THE いわて DAY（相談受付17組）」やふるさと回帰支援センター主催の「ふるさと回帰フェア（相談受付10組）」に参加し、コロナ禍前と同様に、対面形式で移住定住情報のPRを行った。</p> <p>「で・くらす遠野」では、市内民間団体や花巻市との広域的な連携により、移住希望者のワンストップ窓口に取り組んだほか、「で・くらす遠野」のホームページやインスタグラムを活用し積極的に情報発信した結果、令和4年度の相談件数は延べ135件と大幅に増加し、15世帯の移住につながった。</p> <p>今後も、移住セミナーに積極的に参加するとともに、ホームページ等での遠野の魅力発信、空き家取得奨励金やリフォーム事業助成金等の利用促進など、移住定住に向けた取組を展開していく。</p>	新型コロナウイルスの影響による全国的な地方移住の流れは継続しており、移住相談の増加傾向が続いている。	
						実績値	7	17	15							
	11	観光客宿泊割合	%	観光交流課	13.64 (H30)	目標数値	13.71	13.77	13.78	13.78	13.78	117.7	達成	<p>令和4年度は、北東北三県大型観光キャンペーンにより、県域を超えたPR展開が実施された年であったが、新型コロナウイルス感染症の拡大の波が繰り返され、感染者も大幅に増加するなど、依然として観光業にとっては厳しい年であった。</p> <p>一方では、「日本のふるさと遠野まつり」が3年ぶりの開催となったことや、国の水際対策の緩和など、賑わいがみられる明るい兆しが見えた年度でもあり、入込数も宿泊者数も前年度と比較して増加しており、徐々にコロナ前までの水準に戻りつつある。</p> <p>今後は、令和5年4月に設立された「観光マネジメントボード遠野」が、本市の観光全体に係る取組の意思決定や、遠野市観光推進基本計画に基づいた各種事業の進行管理、参画組織間の情報共有・連携を図りながら、観光戦略の企画・立案を担うとともに、観光地域づくり法人（DMO）の登録に向けた取組を進めて、持続可能な観光まちづくりを目指していく。</p>	新型コロナウイルスの影響により、観光業や宿泊業にとっては依然として厳しい年度となったが、宿泊クーポン事業及び回遊クーポン事業を継続し宿泊客数の確保を図った。	
						実績値	15.31	17.17	16.22							
	12	地域間交流者等受入数	人	観光交流課	861 (H30)	目標数値	900	900	900	900	900	95.3	未達成	<p>大府市及び福岡町による遠野市産業まつりへの出店を支援し、前日には武蔵野市も加えた歓迎交流会を開催した。</p> <p>また、武蔵野市民ツアーの受入れや菊池市及び西米良村との住民相互交流を実施した。</p> <p>今後も、相互交流の在り方を検証しながら、友好都市及び交流市町村等との絆を深め、交流人口の拡大を図っていく。</p>	一部の児童交流事業が再開できなかったり、縮小開催となった事業もあったため、目標の受け入れ人数には届かなかった。	
						実績値	198	92	858							
	13	で・くらす遠野市民新規会員割合	%	観光交流課	18.6 (H30)	目標数値	21.0	22.0	23.0	24.0	25.0	162.2	達成	<p>令和4年度は、コロナ禍前のように、友好都市との交流事業や遠野郷人会総会を再び開催することができたため、「で・くらす遠野」市民制度のPRを様々な場面で実施した。</p> <p>また、令和4年度から移住支援情報の提供を中心とした無料会員を新設したため、令和3年度の会員数から大幅な増加を図ることができたこともあり、目標数値を達成することができた。</p> <p>今後も、市民制度の周知に努め、継続会員の確保とともに新規会員の増加につなげていく。</p>	新型コロナウイルス感染対策を講じながら、友好都市との交流事業や遠野郷人会総会を再開することができ、「で・くらす遠野」市民制度のPRができた。移住支援情報の提供を中心とした無料会員制度の新設により、新規会員の増加を図った。	
						実績値	16.5	29.2	37.3							
	【重点プロジェクト4】 「子育てするなら遠野」の推進	14	合計特殊出生率	人	子ども政策課	1.71 (H30)	目標数値	1.72	1.74	1.76	1.78	1.80	92.6	未達成	<p>合計特殊出生率は、1.63（令和3年度）で、目標に対し0.13ポイント下回ったが、前年より0.05ポイント増加した。相手県1.46を上回っているが、少子化傾向は依然として継続している。</p> <p>安心して産み育てられる環境づくりのため、妊娠婦あんしんサポート事業やすこやか子育て保健事業、幼児教育・保育無償化に伴う副食費助成や学童保育の無償化、ファミリー・サポート・センター事業など、妊娠・出産から子育てまで来れない支援を継続していく。</p>	感染拡大や長期化の影響を受け、子育ての負担や経済的不安などが出生数減の影響の一つと考えられる。安心して産み育てられる環境づくりのため、子育て世帯に寄り添った支援を継続していく。
							実績値	1.73	1.58	1.63						
		15	この地域で子育てをしたと思う親の割合	%	子ども政策課	91.1 (H30)	目標数値	92.0	93.0	94.0	95.0	96.0	97.3	未達成	<p>目標数値から2.5ポイント下回ったが、前年度からは3.7ポイントの増となった。</p> <p>少子化や地域のつながりの希薄化により、親の子育てに対する不安や負担が増大している中で、妊娠期から子育て時まで、切れ目ない支援を受けられる体制をさらに充実させ、この地域で安心して子育てできるよう支援の継続や環境の充実を図っていく。</p>	感染拡大や長期化に伴い縮小していた事業が、感染対策を取りながら少しずつ開催されるようになったことにより、子育て世帯の相談機会が増え、子育てに対する不安が解消されてきているものと考えられる。安心して産み育てられる環境づくりのため、子育て世帯に寄り添った支援をさらに継続していく。
							実績値	93.6	87.8	91.5						
16		わらすこ条例応援認定事業者数	事業者	子ども政策課	34 (H30)	目標数値	40	41	42	43	44	126.2	達成	<p>目標値である42事業者に対し、令和4年度は7事業者を新規認定、2事業者を更新認定し、認定事業者は53事業者となった。</p> <p>従業員が育児休業を取得しやすい職場環境の整備や従業員の子育て時間を確保するための措置など、事業者の自主的な取組により子育て支援が促進されるよう、今後も普及啓発を図りながら、認定事業者の拡大に努めていく。</p>		
						実績値	44	46	53							
17	ICT健康づくり事業参加者数	人	健康長寿課	1,042 (H30)	目標数値	1,700	1,800	1,900	2,000	2,100	78.3	未達成	<p>目標値には及ばなかったものの、新規参加者は170人、継続率は88.8%と高い水準であった。また、新たな施策として参加希望者向けの事業説明会や既に事業へ参加している者の口コミ等を活かしたお友達紹介・同時入会キャンペーンを新たに実施し、新規参加者の獲得に繋げた。国民の7割を占めるとされる健康無関心層が健康ポイントによるインセンティブ（動機付け）をきっかけに、無関心から健康維持へと行動変容できている。</p> <p>地域での計測会や運動教室、市内11の事業所と協働した働き盛り世代への健康支援、健步アンプサマー養成、地元商店街や観光施設と協働したウォーキングイベント等の実施により、市民の健康意識の向上に努め、健康寿命の延伸、医療費及び介護給付費の抑制、地域経済の活性化に寄与している。</p> <p>今後も市民の健康づくりを応援するとともに、ポイントの経済活動利用により地域の活性化に努めていく。</p>	感染予防対策を徹底し、新規参加者向けの集団説明会を新たに実施した。 <p>昨年度に引き続き、地域での計測会・運動教室の継続、屋外でのウォーキングイベント、冬季間の地区センターを利用したウォーキング機会の確保を図り、外出やコミュニケーション不足による健康二次被害の防止に努めた。</p> <p>また、口コミ（お友達紹介キャンペーン）やすずらん振興協働組合への呼びかけなどの工夫により募集周知を行った。</p>		
					実績値	1,448	1,477	1,487								

プロジェクト名	番号	内容	単位	担当課	現状	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	達成率	達成状況	成果・評価	令和4年度における新型コロナウイルスの影響及び対策
	18	シルバー人材センター会員就業率	%	健康長寿課	100 (H30)	目標数値	100	100	100	100	100	93.7	未達成	シルバー事業への理解と新規会員の獲得に向け取組を行ったが、令和4年度の会員数は前年度より4人減の207人となった。一方、受託事業における就業率は目標の100%を達成できなかったが、家庭等においての軽度な修繕や作業、市委託事業としての軽度生活援助事業等、地域に密着した就業機会の提供を行い、高齢者の生きがいの充実が図られた。 今後も、働く意欲のある高齢者の会員確保と受託事業の新規拡大の支援を行っていく。	新型コロナウイルス感染症への不安から就業を見合わせる会員がいたことで、就業率の目標を達成することはできなかった。 また、会員が利用者宅に赴く際は、マスクの着用や手指消毒など基本的な感染症対策を徹底し従事した。
【プロジェクトX】 人と人とのふれあいによる“しあわせ度”の向上	19	遠野市ひとパワー (10の市民協働事業への参加者)	HP (ひとパワー)	経営企画課	45,010 (H30)	目標数値	45,000	44,500	44,000	43,500	43,000	49.9	未達成	日本のふるさと「遠野まつり」は、新型コロナウイルスの感染対策を講じながら3年ぶりに開催されたものの、半数の団体が参加を見合わせたことから、コロナ禍前の規模での開催には至らなかった。 また、町民運動会は、新型コロナウイルス感染症の拡大から3年連続の中止となり、全体の目標値を大幅に引き下げる要因となった。 令和5年5月には、新型コロナウイルス感染症が第5類に移行したことから、コロナ禍以前の状態に戻るよう、関係部署とともに市民協働の推進を図っていく。	19-1 日本のふるさと「遠野まつり」は、感染対策を講じながら3年ぶりの開催となった。 19-6 介護予防に資する住民主体の通いの場合は、感染対策を講じながら、各地区での普及拡大に力を入れ、事業開始から連続での参加者増となった。 19-9 町民運動会は、3年連続の中止となったが、5つの体協で代替イベントを開催し、合わせて293人の参加があった。
	19-1	日本のふるさと「遠野まつり」参加者数	人	観光交流課	10,000	実績値	0	0	2,313					3年ぶりに開催された今年の遠野まつりは、現在の開催方式（1日目まちなか、2日遠野郷八幡宮）となり50周年の節目の年となったが、新型コロナウイルス感染症の拡大が懸念され、団体数が例年の約半数に減少した。 しかし、実際に遠野まつりが開催され、演舞する様子がメディア等に紹介されると、参加できなかった団体から「来年は必ず参加する」等の声が聴かれた。 本格実施を目指す令和5年度にはコロナ前の開催規模に近づくと見込まれる。	参加団体の減少や一部ルート変更などの影響があったが、参加団体数確保のため代表者会議において、団体内での感染防止対策の周知や当日参加団体構成員へ抗原検査キットを配布するなど対策を講じた。
	19-2	市民協働の芸術文化事業の参加者及び鑑賞者数	人	生涯学習スポーツ課	8,328	実績値	2,978	3,581	4,118					遠野市民芸術祭や遠野物語ファンタジーなどの芸術文化事業参加者は、固定化・高齢化傾向にあり、目標値を達成することができなかった。 今後は、より一層関係機関・団体と連携しながら、子どもから大人まで幅広い年齢層が参加できるような仕掛けづくりをし、長期的に芸術文化事業に携わることができるように取り組んでいく。 また、より多くの市民が興味関心を持ち鑑賞するような芸術文化事業を企画していく。	基本的な感染対策（マスク、体温測定など）を講じた上で各種文化事業を実施した。
	19-3	博物館講座等の受講者数	人	文化課	1,333	実績値	1,144	958	1,068					市内小中高校と連携し、ニーズに応じた博物館教室を実施した。出前講座や特別展・企画展に連動したイベント、地域への移動展示などを積極的に開催し目標値を達成することができた。 今後も関係機関と連携を深めながら事業を実施する。	講座開催の際にはアルコール消毒の設置、体温測定、定期的な換気を実施した。人数が多い時には、少人数のグループ分けを行い密にならないように努めた。
	19-4	みんなで築くふるさと遠野推進事業参加者数	人	市民協働課	3,717	実績値	3,039	2,907	3,582					全11地区が「地区まちづくり一括交付型事業」に移行してから5年目の取組となり、新型コロナウイルス感染症予防のため規模縮小や中止した事業が39件あるが、遠野遺産や集会所の改修等ハード事業にも取り組み、令和4年度の参加者数は前年度と比べて675人増の3,582人となった。 今後も新型コロナウイルス感染症予防と並行しながら、既存事業の見直し、新規事業の組み立てを行い、地域課題を「住民が自ら考え、判断し、実践・解決する」住民自治の取組意識の醸成を図っていく。	
	19-5	環境整備事業（市内河川清掃・花いっぱい運動）参加者数	人	環境課 市民協働課	10,688	実績値	10,407	9,803	9,928					(市内河川清掃：5,654人) 市内河川清掃の参加者数は前年比354人減の5,654人となった。河川の環境整備の必要性や市民の参加意識は依然として高いものの、人口減少や高齢化による参加人数の減少が続いている。 河川清掃は環境整備を通じた交流の場にもなっており、市民協働により河川の景観維持や環境保全が実現している。 (花いっぱい運動：4,274人) 花いっぱい運動の参加者数は、前年比479人増の4,274人となった。 各地区センターや自治会館周辺の花壇整備を行い、地域を多数の花で彩ることができた。 景観への配慮、世代間交流の場にもなっていることから、新たな担い手の参画も目標に、今後も継続して進めていく。	
	19-6	介護予防に資する住民主体の通いの場への参加者数	人	健康長寿課	60	実績値	74	286	365					コロナ禍の中で感染症予防対策を徹底し、住民主体の通いの場の拡大・拡充を図った。フレイル予防と住民主体による通いの場の必要性について保健推進委員を対象とした地区別研修を実施したほか、新規団体の立ち上げに向けた説明会や支援プログラムに沿った継続的な支援を実施した。 また、リハビリテーション専門職及び運動指導スタッフと連携することで、スタッフの技術の向上及びプログラム内容の充実に取り組みすることができた。 今後も事業を継続し、身体機能の低下や閉じこもりといったフレイルの予防に資する通いの場の拡充を目指す。	前年度から継続し、手指消毒やマスクの着用、人と人の距離の確保、換気など参加者全員が同じ認識で取り組めるよう情報提供を行う等感染症予防対策を徹底しながら新規組団体の募集や立ち上げ支援、定期支援を行うことができた。
19-7	認知症サポーター養成講座受講者数	人	健康長寿課	190	実績値	181	368	288					認知症サポーターは、認知症を正しく理解し、認知症の方や家族への応援者（サポーター）として地域で活動する方で、全国的な取組が展開されている。 小学校や老人クラブ、通いの場等地域で養成講座を行い、受講者に上手く伝わるよう工夫をしながら展開している。小学生を対象とした講座では、紙芝居や視覚教材等を活用している。	昨年度に引き続き、講座の中止等の措置は行わず、マスクの着用や適宜デンマークを活用するなど、会場の環境に合わせながら感染予防に努めた。	

プロジェクト名	番号	内容	単位	担当課	現状	区分	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	達成率	達成状況	成果・評価	令和4年度における新型コロナウイルスの影響及び対策
	19-8	遠野市緑化祭参加者数	人	農林課	491	実績値	80	48	295					新型コロナウイルスの影響により、感染拡大を防ぐため、森林愛護少年団を含む市内一般参加者を対象に規模を縮小して緑化祭を行った。 令和3年3月に制定した「ふるさとの森を育み木と暮らすまち条例」の理念である市産材による川上から川下への木材資源の循環を目指し、持続的な木材生産の基礎づくりとしてカラマツの植栽を実施した。 緑化活動への意識向上、森林整備促進の機会となっていることから、今後も継続して実施していきたい。	新型コロナウイルスの影響により、例年のような500人規模の参加者を集めることはできなかった。
	19-9	町民運動会参加者数	人	生涯学習スポーツ課	4,498	実績値	0	0	0					市内一斉町民運動会として開催はせず、各町体協毎に代替イベントを開催することとした。令和4年度は、9町のうち5町で代替イベントを開催し、5町合わせて総参加者数は293人となった。	代替イベントについては、新型コロナウイルス感染症対策を講じた上で開催した。
	19-10	遠野みらい創りカレッジ参加者数	人	生涯学習スポーツ課	6,106	実績値	5,384	4,126	0					令和3年度をもって遠野みらい創りカレッジ運営業務委託を終了したため、参加者数はなしとなった。	
【分野横断プロジェクト1】 地方創生拠点「遠野風の丘」発展プロジェクト	20	道の駅「遠野風の丘」の販売額	千円	産業企画課	597,266 (H30)	目標数値	597,266	697,266	727,266	737,266	747,266	88.6	未達成	新商品開発や試験販売、スタッフ向け研修会の開催のほか、売り場やイベントなど、ソフト面の改善を支援した。 販売額は、オープン以来、過去2番目を記録したが、目標数値を達成することができなかった。	新型コロナウイルス感染症（※特にも第7派）の影響により、繁忙期である7月から9月にかけての販売額、入込数が低迷した。 感染予防対策として、体温計設備、パーテーションの設置などを行ったほか、店内喚起等を行いながら営業した。
	21	道の駅「遠野風の丘」年間入込数	人	産業企画課	885,187 (H30)	目標数値	885,187	985,187	1,005,187	1,010,187	1,015,187	73.2	未達成	新商品開発や試験販売、スタッフ向け研修会の開催のほか、売り場やイベントなど、ソフト面の改善を支援した。 販売額は、オープン以来、過去2番目を記録したが、目標数値を達成することができなかった。	新型コロナウイルス感染症（※特にも第7派）の影響により、繁忙期である7月から9月にかけての販売額、入込数が低迷した。 感染予防対策として、体温計設備、パーテーションの設置などを行ったほか、店内喚起等を行いながら営業した。
【分野横断プロジェクト2】 遠野ふるさと再生プロジェクト ～ホップの里からビール の里へ～	22	ビールの里関連イベント参加者数	人	産業企画課	8,000 (H30)	目標数値	13,000	15,000	15,000	16,000	16,000	1.3	未達成	新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、実施予定であったポップ収穫祭を急遽中止とした。 また、6月に実施のポップ夏下げ体験会、10月下旬の一番搾りどれたてポップ生ビール初飲み会は新型コロナウイルスの感染状況を鑑み、規模を縮小するなどして開催した。 その他、ビールの里づくりの活動では、SNS等を活用して広く情報を発信し、サポーターの拡大につながっている。	新型コロナウイルス感染症（※特にも第7派）の影響により、実施予定であったポップ収穫祭を急遽中止とした。 また、6月に実施のポップつる下げ体験会、10月下旬の一番搾りどれたてポップ生ビール初飲み会は新型コロナウイルスの感染状況を鑑み、規模を縮小するなどして開催した。
【分野横断プロジェクト3】 高校魅力化プロジェクト	23	地域みらい留学生の人数	人	学校教育課	0 (H30)	目標数値	11	11	11	11	11	27.3	未達成	令和3年度0人に対し、令和4年度の県外からの入学者数は3人と増加したものの、目標数値を達成することはできなかった。各高校の魅力発信を継続するとともに、魅力創出及び魅力発信に向けた支援に努めたい。	
	24	地域社会から高校への応援者数	人	学校教育課	2 (H30)	目標数値	4	6	8	10	10	12.5	未達成	令和4年度の寄附件数は昨年度と同数の1件であった。一方で、高校への支援活動者数は、両校の探究プロジェクト等による関わりによって増加している面もあることから、更に関係を深め、応援者数の確保に努めていきたい。	感染症対策のため学園祭などのイベントが制限され、地域社会と高校の交流の場が減少した。
	25	地域みらい留学フェスタの参加者数	人	学校教育課	0 (H30)	目標数値	12	24	36	48	60	588.9	達成	地域みらい留学フェスタ（合同説明会）の開催方法にオンライン開催も含まれたことから、遠方からの参加も容易となり、目標数値を大幅に上回った。両校の参加者数は遠野高校133人、遠野緑峰高校79人となり、ともに令和3年度よりも参加者数が増加していることから、今後も魅力発信に努めていく。	新型コロナウイルス感染症の影響により、首都圏での地域みらい留学フェスタの開催の他に、オンラインでの合同説明会も開催され、遠方の学生がより参加しやすい環境が整備された。
	26	遠野高校への入学者数	人	学校教育課	124 (H31)	目標数値	130	130	130	130	130	90.0	未達成	目標数値は達成しなかったものの、令和3年度の入学者数105名に対し、令和4年度の入学者数117名と増加した。令和4年度に両校と市で結んだ「地域・世界の未来を創る人材育成に向けた連携に関する協定」（3者連携協定）に基づき、遠野高校との意見交換を踏まえながら魅力発信等を継続し、入学者確保に努めていく。	
	27	遠野緑峰高校への入学者数	人	学校教育課	58 (H31)	目標数値	60	60	60	60	60	70.0	未達成	令和4年度の入学者数は42名であり、昨年度と横ばいの結果となった。令和4年度に両校と市で結んだ「地域・世界の未来を創る人材育成に向けた連携に関する協定」（3者連携協定）に基づき、遠野緑峰高校との意見交換を踏まえながら魅力発信等を継続し、入学者確保に努めていく。	
	28	高校とのコンソーシアム団体数	団体	学校教育課	39 (H30)	目標数値	40	42	43	44	45	179.1	達成	地域の人材育成を図ることを目的に、高校と地域の団体等との協働体制によるコンソーシアムを形成し研究等に参画した団体が遠野高校が9団体、遠野緑峰高校が68団体となり、目標数値を達成した。両校への応援者の確保に繋げていけるよう取組を継続していく。	探究活動の実施にあたっては、感染予防に配慮しながら実施した。
	29	高校への支援活動者数	人	学校教育課	227 (H30)	目標数値	230	235	240	245	250	163.8	達成	地域の人材育成を図ることを目的に、高校が行う地域探求活動や探究活動に対する地域の支援者数は、遠野高校が185人、遠野緑峰高校が208人となり、目標数値を達成した。今後もこの取組を継続し支援活動者の増加に努めていく。	探究活動の実施にあたっては、感染予防に配慮しながら実施した。